

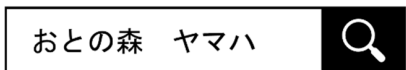


熱帯早生材の木材加工技術

- 令和3年度途上国森林ナレッジ活用促進事業 -



ヤマハ株式会社 おとの森プロジェクト
仲井一志



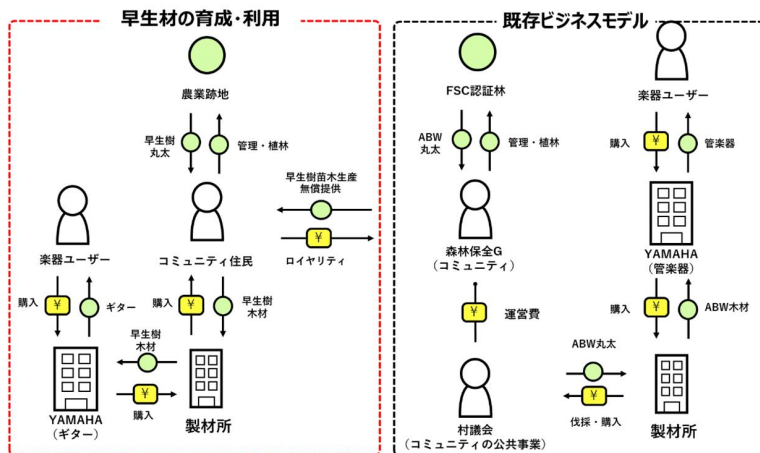
希少木材の資源保全と社会発展

タンザニアでの木と食の意外な関係

アフリカン・ブラックウッドの世界的産地
その産地は焼畑農法によるゴマ栽培が盛ん



農村の土地利用の改善が希少資源保全に繋がる



早生材の育成と活用

早生樹（ニーム）の植栽

- タンザニアではMarobainiとして知られる
- 農村のオープンエリアに植栽
- 1年後の生残は約25%（2 m以上に成長）



- オープンエリアでは家畜、火入れの影響が大きい
- 特に乾季で下草が枯れると被害が増える
- ニームの他、トゥーナも選択したが種子調達できず



早生材の活用

- 3種の早生材の物性を比較し、ギターを試作
- ニーム材は製品に搭載可能なレベルにあった

ギター試作品 →

左から棹材に、
インドマホガニー
ニーム
トゥーナ



加工性、外観、調達性
から使用可否を判断

※木材物性だけなら、
棹材にはいずれも問題
なく使えていた・・・

